



六郷 ろくごう

六郷小学校

H30. 10. 19

No. 21

「杏授苑」の方々に喜んでもらえるには？

4年生の子ども達が10月17日(水)、杏授苑を訪問しました。これは総合学習の時間に学習してきたことを生かして、お年寄りの方々と触れ合うという内容です。すでに学習発表会でもお伝えしたように、4年生の子ども達は、杏授苑を訪問するにあたり、いろいろな事を検討してきました。お年寄りの方々に喜ばせたいとゲームを考えたのですが、体が不自由なお年寄りには無理なのではないかと気付いたり、自分達を知っている歌を披露しても喜んでくれないのではないかと考えたりしました。

そこで子ども達は、バスケットボールではなく、座ったままでもボールを入れられるように「お手玉バケツ入れ」のゲームを企画したり、座ってでもできるものとして、磁石で魚を釣るゲームを考えたりしました。その他にも、「秋のすごろく」「だるま落とし」、一緒に手を添えながらの色塗りなども行いました。もちろん、歌も昭和の時代の歌を聞いてもらい大受けでした。この学習を通して、子ども達は相手の立場に立って考えることの大切さを学んだのではないかと思います。



4年生がここまで来るために、実はいろいろな体験をしてきているのです。

第1弾 「福祉体験」福祉協議会の方々をお迎えして

4年生では、7月6日に町の福祉協議会の方々をお招きして「福祉体験」を行いました。写真を見ていただくと分かるように、車いす体験と、体に重りをつけ視野の狭いゴーグルをつけての体験を行いました。この体験を通して、車いすでの生活がどれほど大変なのか、体が思うように動かなかったり、視野が狭くなったりするとどれだけ生活が大変かを知ることができました。



この福祉体験は、町の福祉協議会のご協力で行う事ができました。4月に福祉関係の方々をお招きしてお話を聞いた際に、福祉協議会の木村さんが来てくださり、そのつながりの中で実現できました。

子ども達は言葉だけでは理解できません。こういった体感を伴った体験をすることで、自分の実感として大変さを感じることができます。



第2弾 六郷高校での福祉体験 高校生のすごさを感じて

9月20日には、六郷高校で福祉体験を行いました。六郷高校には福祉科があるので、小学生を受け入れてくれ、高校生がいろいろと説明してくれたりします。福祉体験そのものも大事ですが、福祉科の高校生の意欲を感じることも勉強になると感じています。福祉の道に進むという明確な目的をもっている高校生なので、福祉に対する強い思いがあります。それが、小学生に対する説明にも表れています。



今年度から大きく変えた本校の総合学習ですが、その根底には、「美郷の良さを知ってもらいたい。」「美郷に残って働きたい。」という思いをもって欲しいという願いがあります。その良さの一つに、六郷高校の福祉科の高校生を私は上げたいと思います。目的をもって働くことのすばらしさ、目指すものがあるからこそ頑張れる意欲、そういったものを今回の体験から子ども達を感じてくれたらうれしいと思います。

4年生の子ども達は、「福祉」を切り口にして、様々な体験をし、様々な方々とつながることができました。その中間点として、杏授苑のお年寄りと一緒に楽しい時間を過ごすためにどうすべきかを考え、これまでの経験を生かしながら、実際に様々な工夫をして楽しい時間を過ごすことができました。

4年生の総合学習のテーマは「未来の福祉をえがこう」です。これまでの体験したことや、杏授苑での交流を通して、子ども達には「未来の福祉の姿」が見えてきたでしょうか。1年間のまとめとして、最後にはどんな発表をしてくれるのかとても楽しみです。その際には、福祉関係者はもちろん、町長さんにも来ていただけたらと夢を描いています。

ライオンズクラブの皆様、ありがとうございました。

報告が遅くなりましたが、秋の交通安全旬間の際に、町のライオンズクラブの皆さんが街頭指導に立ってくださいました。春の時も来てくださって、本当にありがたい限りです。こういった形で学校をサポートしてくださる事は、地域と一体となった学校に近づく一歩であると考えます。本当にありがとうございました。



子ども達のがんばり

- 第4回ワクアス杯ミニバスケットボール大会 第1位 六郷ピオニーズ
- 第20回秋田県小学生ハンドボール大会 U10 準優勝 横手ハンドボールスポーツ少年団
- 大仙仙北郡市4種サッカー大会 U9 準優勝 美郷FC